

消防団長紹介

四條畷市消防団 団長 樋口 善信

四條畷市は、大阪府の東北部に位置し、東部は山間部を経て奈良県生駒市に接しており、西部は寝屋川、南部は大東、北部は交野、寝屋川の各市に隣接しています。面積は約18.69km²で約3分の2は生駒山地となっており、まちと自然、人と人がほどよい距離でのびのびと過ごせる「市全体」が「自然体」のまちです。

四條畷市消防団は昭和22年に四條畷町消防団として発足しました。現在では消防団本部を設置し、第一方面隊（南野上、南野中、南野下）、第二方面隊（中野・清滝）、第三方面隊（薮屋・砂・岡山）、第四方面隊（上田原・下田原）の4つの方面隊と女性分団で形成されています。消防団は災害現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防除など、地域防災のリーダーとしてその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

昭和58年12月に入団以来、平成23年4月に分団長、平成27年4月に副団長を歴任、令和5年4月から消防団長に任命されました。

消防団活動において記憶に残っている出来事は、平成22年に、統括する地区の民家が軒を連ねる密集地において、発生した長屋住宅火災です。火災現場到着時、すでに出火建物2階部分から激しく炎が噴出しており、同建物の周囲は東西と北側に隣接していることから、延焼危険がありました。最も近接していた火点北側に筒先部署し延焼防止にあたりましたが、防ぎょ活動は、出火建物と北側家屋との間隔が狭隘なため困難を極めました。出火から1時間以上の消防活動でようやく火勢を鎮圧・鎮火し、出火建物は全焼したものの、北側家屋への延焼を阻止でき被害を最小限にとどめることができたことが今でも記憶に残っています。

市民の大きな願いである安心、安全を確保するため、関係機関とも一致協力し、無災害都市四條畷の実現を目指し邁進してまいります。